

群弓連だより

123号

令和6年5月

群馬県弓道連盟

発行人 飯塚勝亮

第一回【先生、お話聞かせて！】

広報部 稲葉・長岡

印刷からPDFに変更になった群弓連だよりをもう少し会員の皆様に興味をもっていただきたく、今後は先生方にお聞きした貴重なお話の掲載などを年に数回発行していきたいと思っております。初回は前橋支部・高橋ゆかり先生にお話をお伺いしました。



前橋・高橋ゆかり先生

【広報】まず女性の先生からお聞きしようと思われ、広報部女子チームで企画立案いたしました。普段からお話させていただく機会があったゆかり先生に雑談込みで色々お話を聞けるといいと思い、お願いいたしました。今日はよろしくお聞きいたします。

【ゆかり先生】よろしくお聞きいたします。私も長く弓を引いているうちに、女性の中では段位は今一番上になってしまいましたので、本当に私達がしっかりしないと、感じています。

結婚前から国体を目指して弓道に精進していましたが、そのときは夢叶わず、その後結婚して子供を生んで、子供が大きくなってからまた弓道を始めたいと思って再入門したときに、皆さんの真剣に取り組んでる様子を見て、また始めるならしっかり弓道と向き合っていないといけないという空気をすごく感じました。

【広報】特に若い頃から弓道を始められていて、道場に動き回る子供を連れてこられる環境ではないなど女性弓道家の特有の悩みなどに対してもご意見をお聞かせ願えたらと思っています。

【ゆかり先生】私の場合（時代）はそれもあって、子供が9歳くらいになるまでは弓道をお休みしてました。おじいさんおばあさんも家にいましたし、子供が学校に行くようになって、私もそろそろ出たいなあと（笑）また国体もめざしてみたかったですし…。周りには中る人もいっぱいいてそんな簡単なものではありませんでしたけど。怖い先生もいっぱいいたんですが、でも怖い先生ほど懐入っちゃうととても熱心に面倒見てくれました。

現代は授乳中の子供を連れて大会に出るなど、周りの理解もあるとお聞きします。

【先生、お話しさせて！】

お知らせ

※協力：新里弓道場（会場提供）

歩き出しちゃう小さい子を連れてはそういうわけには行かないですけどね。場合や環境によっては素敵なことだと思います。

【広報】現代はトランスジェンダーの弓道家の方もいたり、世間的には女性らしく・男性らしくを声高に言うのはばかられる時代になってきていますが、そのあたりは武道としては難しい面もあるとは思いますが、どのように感じていますか？



【ゆかり先生】体配や射技に関しては女性も男性も関係ありませんよね。

但し、LGBTQ などに対して考え方は変えていかないといけない時代にはなっているのだと思います。本来ならどちらかの性別しか講習会をやらないというよりは、射手や介添を男女混合でやったりする事もあるので男性も女性も一緒に和服講習会ができると良いと思います。女性は肌脱ぎの仕方を、男性にはたすき掛けを実際にやらしてもらったりして理解してもらおうと良いかもしれませんね。

ただし、どうしても身体の作りが違うので、実際は男女同じようにすることは難しいですが、それは性別に限らず年齢・国籍・もともとの体型や骨格など皆さん

違うので、相互理解ができるようになるとよいですね。

【広報】これは雑談になりますが、ご夫婦で弓道をなさってる場合、「今日の夕御飯何にする？」のようにご自宅で弓道の射技や試験のお話をされることありますか？

【ゆかり先生】 もちろんありますよ！でも向こうはあれこれあまり言いません。ホントは言いたいかも？(笑)

【広報】弓道のお稽古をされてないときは何か他の趣味等されてますか？

【ゆかり先生】最近膝も良くないし、弓道で調子が悪い時があるのは胴作りが悪いのかもと思ってスポーツジムに通っています。

【広報】弓道のときに特に気をつけていることはありますか？

【ゆかり先生】「正射必中」正しく引けば正しく中る。これに限ります。でも最近はやっと早気気味で悩んでいますよ(笑)いつも何かに悩んでいます。実は分からないこともあったりするし、段位が上がったからと言ってすべてを網羅できているわけではないので他の先生たちと事ある度に相談し合います。皆さんも同じくらいの段位の仲間同士であれこれ談義するのはとても良いことだと思います。

【広報】今日はお時間いただきありがとうございました。

【ゆかり先生】ありがとうございました。

お知らせ

広報部ではこれから各支部の先生方に貴重なお話をお伺いする活動を組み込んで活動を行う予定です。お声掛けさせていただいた先生方、いろいろなお話をお聞かせください。なお、自薦他薦を問いませんので広報部までご連絡いただけますと幸いです。 連絡先：koho01@gunkyuuren.com

広報部会：齊藤昌之、高木正博、稲葉愛、長岡麻子